

金沢区教育研究会

- 1 研究主題 「社会に開かれた教育課程の創造・実践」
～主体的・対話的で子ども一人ひとりの深い学びを実現する授業力の向上を目指して～

2 研究主題について

新指導要領では「社会に開かれた教育課程」のもと、「主体的・対話的で深い学び」を実現することが求められている。そこで、市小教研の研究主題を受けて、昨年度に引き続きこのように金沢区の研究主題を設定した。また、金沢区の小教研では、これまで子ども一人ひとりの思いや願いを大切に研究を深めてきた。その成果をこれからの研究にも引き継いでいきたいと考え、副題を「主体的・対話的で子ども一人ひとりの深い学びを実現する授業力の向上をめざして～」と設定した。

3 研究方法

集合型の研究会では、参加人数を限定したり、グループに分け複数会場で実施したりして、終了後は消毒を確実に行った。

集合せずに行う方法として、書面での提案やオンライン会議などを取り入れた。

4 年間活動(事業)報告

① 企画会

年度初め 令和2年8月25日(火) 金沢小学校
年度末 令和3年3月初旬 書面にて開催

② 一斉授業研究会

今年度は実施しなかった。授業校のローテーションは、原則として次年度に持ち越す。

③ 区振興行事

行 事	実 施 日
区水泳大会	中止
区児童音楽会 (金沢公会堂)	中止
区個別支援合同宿泊学習(三浦ふれあいの村)	中止
個別合同作品展 (いきいきセンター)	12月4日(金)～12月10日(木)
個別合同学習発表会 (金沢公会堂)	中止
区球技大会	中止
区巡回図工展	1月12日(火)～2月22日(月)
区巡回書写展	今年度から実施しない

5 研究の成果と課題

コロナ禍で例年と異なり制約の多い今年度であったが、年間計画を見直し、研究方法を工夫しながら、実践提案、実技研修、講演会等を通して研究を進めることができた。オンラインでの学習会や会議の実施など、研究会のネットワーク化が思わぬ速さで実現したのは今年度の成果である。コロナ禍により、変更を余儀なくされた研究スタイルは、コロナ収束後にもつながるように改善し、今後も新しいスタイルを取り入れながら研究の歩みを進め、発展させていきたいと考える。

一斉授業研究会が中止となり、事前の指導案検討や授業後の意見交換の中での教材分析や指導計画、指導法に関する研究ができなかったのは残念であった。人材育成のためにも次年度以降の実施を願う。